

第1章 国土強靱化の基本的考え方（計画策定の趣旨、位置付け）

- ・氷見市の強靱化を推進するため、国土強靱化基本法に基づく国土強靱化地域計画として策定するもの
- ・国土強靱化基本計画や富山県国土強靱化地域計画との調和を図りながら、氷見市における今後の強靱化施策の指針となるもの（総合計画と並列として位置付ける）
- ・計画期間は、令和3年から概ね5年間

第2章 地域特性と災害リスク

地域特性

- ・氷見市における地形的特性、気象的特性、社会経済的特性

災害リスク（過去を踏まえ想定する大規模自然災害）と社会経済的要因

- ・地震、津波、水害、土砂災害、雪害（災害リスク）
- ・人口減少と少子高齢化、社会資本ストックの老朽化（社会経済的要因）

第3章 計画の基本的な考え方

○4つの基本目標

- ①人命の保護 ②市及び社会の重要な機能の維持 ③市民の財産及び公共施設に係る被害の最小化 ④迅速な復旧復興

○事前に備えるべき目標

- ①直接死の防止 ②救助・救急、医療活動が迅速に行われるとともに、被災者等の健康・避難生活環境の確保
 ③行政機能の確保 ④情報通信機能・情報サービスの確保 ⑤経済活動の維持
 ⑥ライフライン被害の最小化及び早期復旧 ⑦複合災害・二次災害の防止 ⑧社会・経済の迅速かつ従前より強靱な姿で復興

○起きてはならない最悪の事態

- ・リスクシナリオとしての起きてはならない最悪の事態を設定

○施策分野

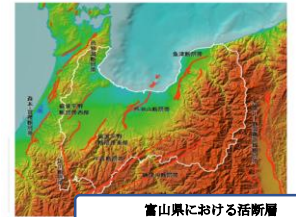
- ・施策分野を5つの個別施策分野と4つの横断的施策分野に設定

個別分野

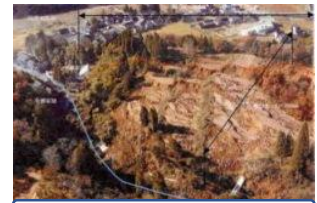
- ①行政機能・防災教育分野
 ②住環境分野
 ③保健・医療・福祉分野
 ④産業分野
 ⑤国土保全・交通物流分野

横断的分野

- ①リスクコミュニケーション分野
 ②人材育成分野
 ③官民連携分野
 ④老朽化対策分野



富山県における活断層



氷見市谷屋地内地すべり（H14年）

第4章 脆弱性の評価と推進方針

○脆弱性の評価

- ・起きてはならない最悪の事態を回避するための施策の現状と課題を分析・評価し、対応方針を検討

○推進方針

- ・施策分野別における対応方針

第5章 計画の推進と見直し

推進体制、計画の見直し、計画の進捗管理（PDCAサイクル）